

令和7年度保育・教育に関するアンケート結果について

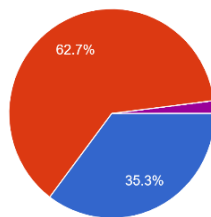
先日実施しました「令和7年度保育・教育に関するアンケート」につきまして、ご協力いただきました保護者の皆様、ありがとうございました。各調査項目の集計結果について、次のようにご報告させていただきます。アンケートの回収率は59.3%でした。(86世帯中51件)

○毎日の保育・教育について

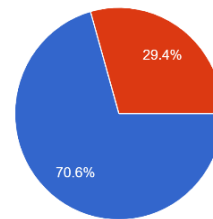
1.保育・教育目標を分かりやすく伝え、目標に応じた保育・教育がなされていますか。



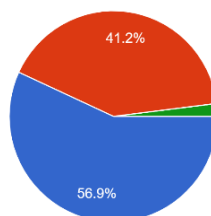
2.年齢に応じた食育の取り組みがなされていますか。



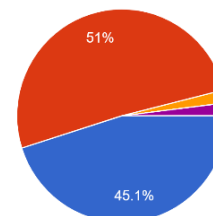
3.子どもがのびのびと楽しんで遊んでいますか。



4.子どもの経験の幅が広がるよう、いろいろな行事や遊びが取り入れられていますか。



5.子ども一人ひとりを保育者が理解し、個性を大切にされた保育・教育がされていますか。

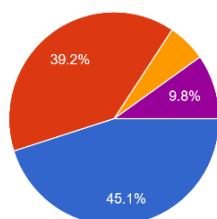


○園の運営について

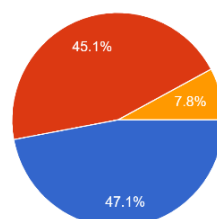
6.登園・降園時に職員から子どもの様子や健康状態等の声掛けがありますか。



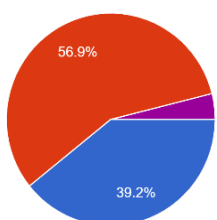
7.個人の都合で保育・教育時間に急な変更が生じた場合、延長保育や一時保育等の柔軟な対応がされていますか。



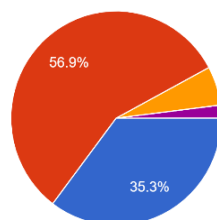
8.園で起きた事故やけが、感染症や急な体調変化に対し、適切な対応がされていますか。



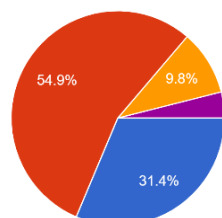
9.災害・不審者などへの安全対策(設備や訓練など)がとられていますか。



10.「園だより」や「本日の活動」、ホームページ等の情報提供はわかりやすく伝える工夫や配慮がされていますか。



11.子育てに関して学んだり相談できたりする場が提供されていますか。

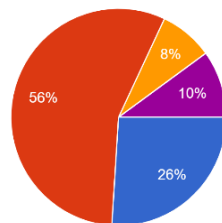


○園全体について

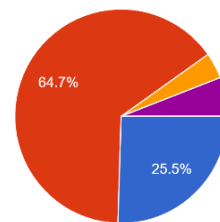
12.子どもは喜んで園に通っていますか。



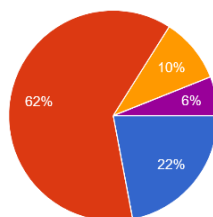
13.保護者の意見や声が園に届いていると感じられますか。



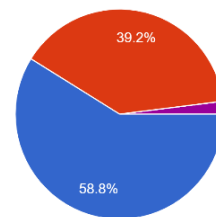
14.保護者や子どものプライバシーは守られていますか。



15.地域との交流は十分に行われていますか。(小学校等との交流や地域住民との交流、地域にある他施設の利用や地域行事の参加等)



16.総合的に、まごころ認定こども園に子どもを通わせてよかったと感じますか。



17.各項目に対する具体的なご意見、その他、まごころ認定こども園についての総合的な感想や疑問、来年度に向けての要望等があれば自由にご記入ください。

以下、非公開を希望する記述を除き、すべてのご意見等について、原文のままで掲載いたします。

- ・土曜保育をよく利用するのですが、急な変更にもすぐ対応してくださり、本当に助かってます。いつもありがとうございます。これからもよろしくお願いします。
- ・名前のわからない先生がいらっしゃいます（汗）
送迎が祖父母のため玄関での確認も出来ず…
行事の時とか戸惑う時もありました。
- ・ジャストアイデアですが、年末の大掃除については、要所要所で記録写真を撮っておくなどすると、翌年、担当エリアが初めての方も作業イメージが湧きやすく、スムーズに取り組みやすいのではないかと思います。
- ・色々と柔軟に対応をして頂いてとても助かっています。
また、製作や歌、踊りなどとても楽しいようで、家でも披露してくれます。
- ・感染症が流行っている時期は特に思うが、迎えの時に保護者が中まで入って連れて帰るのが負担とリスクが大きい。速やかに帰られるよう先生たちで連携をとって園全体でお迎え時の送り出しをして欲しい。年齢的に気持ちの切り替えが大変な時期の子どもや、子どもを抱っこしている保護者等への配慮が十分ではない。特に感じるのは自分の担当クラス以外の子どもが帰ろうとしない時に手を貸してくれることはほとんどない。声をかけてくれることも少ない。それは現場の先生たちだけで無理なら園長先生でも副園長先生でもいいと思う。
- ・園庭にあったら遊具の老朽化での取り外して以降新たな物の設置はしないのでしょうか？
設置しない理由というのもあるのかもしれませんがあった方がいいです

○具体的なご意見等に対する回答について

・「名前のわからない職員がいる」

職員の名前がわからない保護者の方がおられること承知しました。保護者の方に安心してお子様をあずけいただくためには信頼関係がとても大事だと園長は考えています。そのため、保護者の方に職員の顔と名前が見えていることは大切だと思いますので、お伝えいただきありがたく思います。

一方で、職員の顔と名前は個人情報にあたります。近年、園には職員のプライバシーを守ることが求められています。そのなかで、以前のようなホームページでの職員の顔写真の公開や紙での配置表の一斉配布は、それをどう扱われるか責任をとることができないため実施は難しいと考えています。

現状、個別に要望のあった保護者の方に対して個人情報の取り扱いに理解をいただいたうえで職員配置表のコピーをお渡しする程度のことはできていると考えていますので、希望される方は個別に職員にお伝えください。また、その他に良いアイデアがあれば担任を通じてでもよいので園にお伝えいただけるとありがたいです。

・「速やかに帰れるように子どもの送り出しをしてほしい」

すぐに帰りたい、体調がすぐれないので園内に入りたくないなど、様々な事情を抱えている方がいらっしゃると思いますので、お迎えの際に園内に入りたくない方は職員にお伝えください。ご希望に応じてお子様を玄関までお連れするという対応を行っています。

ちなみに、お迎えの際に保護者の方に園内に入ってくださいことは次の意図をもって行っています。① 保護者の方に保育室の様子やお子様の過ごし方、お友達とかかわっている姿などを見てもらい、知ってもらう。② 保護者の方に担任や他の職員とコミュニケーションをとってもらう。③ 同じ時間帯にお迎えが一緒になる他の保護者とコミュニケーションをとってもらったり、同じクラスにどのような保護者がいるかを知ってもらうたりする。

こども園は、保護者の方が都合の悪いときにお子様をあずかる単なるサービスではなく、様々な社会的役割を期待されています。そのなかで、当園は、開園以来、園内を単なる託児場所ではなく、様々な方が行き交い、交わる場所だにとらえ、保護者の方に園内に入ってくださいということを積極的に行ってきました。この考え方は今後もますます必要となると園長は考えています。

また、職員の対応についてお伝えいただきありがとうございます。保護者の方に職員がどうかかわるとよいかはいつも悩んでいるところです。保護者の方の価値観が多様化するなかで積極的にかかわってほしい方もいれば極力かかわってほしくないという方もおられます。園の職員もいろいろと考えながら対応はしていますが、行き届かないことは多々ありますので、特に助けてほしい時や手伝ってほしいときは積極的にお伝えいただけると大変ありがたいです。

その他、感染症が流行しているときの玄関のみの対応を以前は行っていましたが、玄関で多くの保護者が待つことで「密」になり、逆にリスクが高まっているのではとの懸念から今年度の感染症流行時は行いませんでした。これについては今後も検証を重ねていきたいと考えています。

・「大掃除で記録写真を撮っておくとスムーズに取り組みやすいのでは」

「大掃除」は保護者会の作業奉仕のことだと推測しますが、イメージの共有のためには写真の記録はとても良い方法だと園長も思います。今回の作業奉仕では、棚を戻すときなどにイメージできるよう、あらかじめ撮った部屋の写真を掲示するなどしましたが、今後も保護者の方の意見を取り入れながら作業奉仕を運営していきたいと考えています。

また、作業奉仕の目的は園をきれいにしてもらうことですが、同時に、保護者同士が一緒に作業をしてもらうことで保護者同士がコミュニケーションをとるきっかけの一つになればという思いもあります。今年度の2回の作業奉仕でも保護者同士が声を掛け合いながら作業する姿を度々見かけることができました。このような点も大事にしていけると良いと園長は考えています。

・「園庭に大型遊具を設置してほしい」

「設置しない理由はあるかもしれないが」とお察しいただいている通り、大型遊具を新しく設置していないのにはいくつか理由があり、それは次の通りです。① 大型遊具が今求められている保育教育のトレンドとマッチしていない。② 大型遊具を設置するには園庭の広さが十分でない。③ 高額なため予算の確保には長期的な計画が必要となる。

まず、①についてですが、現在、幼児教育では、自ら考え、自ら取り組む子どもの育ちを支えることを期待されています。すべり台など、遊び方が指定されるものより、自然物など、遊び方が多岐にわたり、五感で感じられるものが環境構成において優先度が高いという考え方が業界では徐々に大きくなっています。

次に、②について、園内環境研究の第一人者である秋田喜代美教授(学習院大学)は、著書のなかで園庭には自由に遊べる広々とした空間が一定の面積必要であるとしています。保育教育の質が求められるなかで、20年以上前の常識で設計した当園の保育室や園庭は、現在の感覚だと基準は満たしているものの少し狭く、我々はそれを工夫しながら日々保育教育を行っています。大型遊具を設置すると、ただでさえ狭く感じる園庭のかかなりのスペースを遊具が占有してしまうので、その他の遊びの空間が十分に確保できなくなってしまいます。

最後に、③についてですが、以前あった大型遊具と同等のものを設置しようと思うと1,000万円前後の予算が必要となります。かつては大型遊具購入の補助事業もありましたが、10年以上前に廃止され、現在購入しようと思うと園単独で資金を捻出するか寄付を募る必要があります。備品購入や修繕のための資金は毎年計画的に積み立ててはいますが、他にも老朽化した設備が多くあるため、積立金の取り崩しは慎重に行わなければなりません。

確かに、大型遊具があったときはそれで遊ぶのを楽しみに登園してくれているというお子様がいたこともありましたが、遊具設置のメリットは園長も承知しています。しかし、現状は上記の理由で設置を見送っている状態です。これらの状況は都度変わっていきますので、今後も状況にあわせていろいろと検討していきたいと考えています。